

心ふれあい SA吹田通信 203号

発行 SA吹田 ☎ 06-6388-3380 〒564-0004 吹田市原町3-7-2 小川忠夫 ogawatadaosasuita@yahoo.co.jp
ホームページ <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/active/suita/index.html>
プロダ:心ふれあいSA吹田



2020年度 テレワークでの活動始まる 会長挨拶

小川忠夫

心ふれあいSA吹田が昨年度末の解散騒動に振り回された時期、新型コロナウイルスの緊急事態宣言の発動により、一切の外出自粛がはじまりました。SA吹田の活動も全くできなくなりました。歴史上でもめったに無い事なので、SA吹田通信にもきっちり記事にし記録に残しておきたいと思っています。2月に始まったこのコロナ騒動も5月中旬になって緊急事態宣言は一部の地域で解除されたものの、未だSA吹田の活動を開始する事態には至っていません。外出が出来ない中で、テレワークによる活動準備を進めてきました。この時期に出来ることは、広報部の活動を中心にして、SA吹田通信を発行して、会員同士の認識と情報を共有化し、将来の活動に備える事だと思っています。

SA吹田は会長の後継者不在から解散問題が浮上し、私小川忠夫が10年ぶりに会長に復帰することになりました。そのことにより何とかSA吹田の活動を継続することが出来るようになりました。私も80歳を超え組織の長としてはふさわしくない年齢です。精神的にも体力的にもアクティブな活動を展開するのはいささか苦しい状態と認識しています。そこで今後の人材を育てる意味も含めて、会長代行を置き、会長の不足を補い組織を円滑に運営できるような体制にしました。

新役員も、若手も数多く加え新鮮な布陣になったと思っています。今後の活動を会員の皆様とともに活発に展開してまいりたいと考えています。よろしくお願いいたします。

会長代行挨拶

長澤慎治



皆様こんにちは おもちゃ学校4期生出身の長澤慎治と申します。私の基本的なスタンスは楽しく好きな時にストレスを溜めずに活動するという事です。地域社会の福祉と子ども健全育成等目標に向かってSA吹田4部会の交流と活性化、またSA連協やネット大阪とONCCとの連携に向けて一歩ずつ前進できるよう皆様のお知恵を拝借し無理せず自分のできる範囲で活動を展開いたします。 よろしく願い申し上げます

ネット会議で広報部会

今年度のSA吹田の活動を広報の面から考える

SA吹田の活動は①おもちゃ部会②歌体操部会③国際交流部会④福祉部会の4部会が中心となり活動を支えています。最近の傾向として、この部会の活動が強くなりすぎて、SA吹田全体の活動が軽視されているという話が囁かれていました。そういった意味から広報部を媒体として、SA吹田全体の交流、意見交換等を推進していきたいと考えています。



SA吹田通信は毎月1回発刊します。

SA吹田通信をメールで送ります。

SA吹田会員 160名
メールで配信 100名
部会から渡す 45名
郵送する 15名

昨年まではこのSA吹田通信は全数戸別配布していました。今年からコロナウイルス騒動を機に、印刷費の削減。配達労力の省力に努めます。

広報部の仕事

- ① ホームページ 主として外部への発信ツール **熊田真也**
- ② ブログ 活動の記録 各部会から活動状況を提供 **上田保徳**
- ③ SA吹田通信 SA吹田の全容がわかるような広報誌 **長澤慎治・小川忠夫**

抱負 広報部長 熊田真也

SA吹田では、おもちゃづくりの講座を受け持っています。広報部でHPや、ブログの更新などを担当してきました。SA吹田のHPでは主としてSA吹田の歩み、総会の議案書、周年記念誌、SA通信の掲載などを行っています。課題としてはSA連協のサーバーに多数のファイルを掲載していることで、今後は吹田独自のサーバーに切り替える必要があると思います。さらに現在の処理が複雑です。後継のHPの更新できる人を育成するのが大変です。広報部員が各部会から4人参加され、SA通信の原稿集めに協力してくれることを期待します。5/17

抱負 広報副部長 上田保徳

この度、広報副部長に新しく就任しました上田です(「おもちゃ学校の5期生で、現在「エコおもちゃ作り市民塾」に所属しています)。今年度の活動計画(広報部)に基づき、ブログの復旧・更新に努め「SA吹田」の活動状況を掲載し情報を発信して行く所存です。よって各部会からの活動状況(活動記録)を是非提供下さるようお願い申し上げます。

尚、ブログへの取り組みは初めてで慣れていません。不手際があるかも知れませんが宜しくお願いします。5/16

テレワークで毎日歌体操

SA吹田を中心に大阪府下全域から 大阪市・高槻・茨木・箕面・堺・いずみ・藤井寺 続々参加大いに盛り上がる



テレワーク歌体操に参加して 大阪市 木場昭和子

新型コロナウイルス感染のため家に閉じこもり2ヶ月半が過ぎようとしている時に、SA吹田よりテレワーク歌体操のお誘いを頂き、まず参加させて頂きました。パソコンの画面で久しぶりに皆さんの元気そうな様子を拝見し嬉しく思いました。

月曜日～金曜日までの午前中は皆さんと一緒に歌体操が出来るITを取り入れ新しいことに参画する楽しみが出来ました。

テレワーク歌体操に参加して 高槻市 赤座 芳枝

「オンラインで歌体操」という発想は、私の意識の中にはありませんでした。あれは「どこか遠いところの存在」と思っていました。だからお誘いを受けた時はびっくり仰天!! 5月連休明けよりお仲間入りさせて頂いてもらってます。体操はもとより、懐かしい顔・顔と出会えたことはとっても嬉しかったです。

生活にリズムが出来、毎日楽しんでおります。ご尽力下さった皆様に感謝です。

テレワーク歌体操に参加して 藤井寺市 後藤 知津子

テレワークはテレビでのお話しとして見ていました。実際パソコンに皆様のお顔が見えて、おしゃべりができて大変嬉しく思います。加藤さんの指導で体操が出来て、なまっていた体、脳トレができて大変うれしく思っています。コロナは嫌なこと、でも一つ勉強になりました。毎日楽しみにしております。お世話かけますがよろしく願いします。(早くお教室でお会い出来ますように願っています。)

会員の広場

会員の皆様から寄せられた声の特集です

テーマ:自由(活動・趣味・失敗談・想うこと・何でも可)

おもちゃ部会 小北月子

おもちゃ作りと関わるようになって十数年、毎日、おもちゃのことばかりを考える生活を続けてきましたが、今年2月頃からコロナ感染拡大のニュースが流れ始め、不要不急の外出自粛という今までの生活が一変する事態になりました。今までの生活を見直す時と思い、おろそかにしていた家の片づけ、溜めていた書類の整理などを始めましたが中々はかどりません。

体力の低下を防ぐための散歩で、季節の花々を楽しみ、カメラに収めたり絵に描いたりしてメールで妹、弟に送り、お互いの安否を確かめ合っています。5/16記

国際交流部会 手塚之博

週に3日くらいは外出していた生活が一変、全てがキャンセル、スポーツクラブも休業。どんな生活になるだろうと不安になったが順応性があるのかそれなりに過ごしている。

長く生きていると色んな出来事に遭遇する。今は未知の感染症の流行、その時に自分に何が出来るか、高齢者と呼ばれるようになり出来ることは限られているが「優しい想像力」は持っていたい。

今、高齢者は「stayhome」が一番、テレワークで会議をしたが普段でも十分対応できるものと実感できた。同時にZoomも操る高齢者も大したものと感じた。

5/15記

歌体操部会 山下三致代

退職したら歌体操の活動をしたいと思っていた私が、退職後すぐに歌体操ボランティア養成講座に参加して3年が過ぎました。

知り合いが全くいない千里に越してきて10年。歌体操を通してたくさんの方と出会い楽しく交流させていただく中で、地域につながりが出来てきたことを実感しています。また高齢者施設へのボランティア(歌体操)も本当に楽しい時間です。

現在コロナ禍により日常生活すべて自粛の毎日ですが、以前のように活動できる日が待ち遠しいです。5/19

福祉部会 神保隆之

私はONCCで地域福祉課程の修了生です。豊中市刀根山蛸池会館で福祉講座修了。研修として高齢者サロン「げんき塾」です。開かれた地域活動の一環として癒しのイベントと能勢で修了生が育てた野菜販売などを月1回開催しています。

会場が坂の上で地域福祉委員会の力が強くて参加者の数に波が多くて苦労しています。福祉は普段の生活から何気なく行われています。困った人がおられましたら声を掛ける事から始まる助け合い(お節介)が地域福祉の第一歩と考えています。福祉部会活動に参加協力をよろしく願いたします。5/19

編集後記 新型コロナの感染拡大で突然変わってしまった世の中。SA吹田の活動も全面ストップした。この中で少しでも活動が前進しないかと模索を進め、テレワークにたどり着いた。熊田広報部長の尽力により、いち早く取り組むことが出来た。歌体操やSA吹田の各部会など50名ほど参加している。何事もトライすれば出来ると感じた。小川記